

住みたい街

重要目標達成指標(R6)

- 住み続けたいと思う市民の割合
79.7% → 85.0%
- 人口社会増減率
△0.49% → △0.33%
- 若者の転出超過数(転入者数－転出者数)
△1,101人 → △528人
- 健康寿命
男性76.94歳 → 77.50歳
女性81.48歳 → 82.00歳

交流人口・関係人口の創出・拡大

- ふるさと氷見への郷土愛の育成
 - ・幼児期から高校生のふるさと教育の推進
 - ・親世代の郷土愛醸成

氷見が好きだと感じている市民の割合
年間 82.6% (R1) ⇒ 85.0% (R6)

- 地方創生を支える人材・組織の育成

- ・ぶり奨学プログラムの継続
- ・小中学生の起業家教育など探究型教育の推進
- ・地域づくりやコミュニティ活動に取り組み各種団体の育成

ぶり奨学プログラム登録者のうちのUターン者数
年間 7人 (H30) ⇒ 36人 (R6)

- スポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大

- ・春の全国中学生ハンドボール選手権大会の継続
- ・スポーツ合宿の誘致
- ・サイクルスポーツの魅力発信等
- ・ぶり・棚田等の地域資源を活かした交流促進
- ・新文化交流施設の整備、多様な芸術・文化イベントの開催

新文化交流施設のイベント参加者数
年間 0人 (R1) ⇒ 64,000人 (R6)

- 地域課題解決に資する多様な関係人口の創出・拡大

- ・企業・大学等との連携の強化
- ・氷見きときとファンクラブ(仮称)の開設
- ・ふるさとワーキングホリデーの推進
- ・ふるさと納税の取組強化
- ・企業版ふるさと納税の導入

氷見きときとファンクラブ(仮称)会員数
累計 0人 (R1) ⇒ 2,500人 (R6)

- 国際交流の推進

- ・海外との友好都市交流

海外友好都市との交流人数
年間 27人 (R1) ⇒ 100人 (R6)

- 多様性を認め合える社会づくり

- ・障がい者、高齢者等が共生するまちづくり

平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合
40.5% (R1) ⇒ 60.0% (R6)

安全・安心、持続可能な社会、健康的自立

- 災害に強い社会の実現

- ・災害情報の的確な把握、住民へ避難情報等を迅速かつ正確に届けるシステムの構築
- ・国土強靱化の推進

- 地域医療の充実

- ・消防広域化、出張所整備
- 地域包括ケアシステムの推進

- ・福祉相談窓口の開設、地域福祉活動サポーターの養成
- ・在宅医療・介護の連携によるネットワークの確立
- ・介護人材の育成・確保対策の推進

- 安全で安心な日常生活が送れるまちの実現

- ・鳥獣被害防止対策の推進、防犯カメラの設置費の補助

- 小規模多機能自治の基盤整備と地域内分権の推進

- ・地域づくり協議会の設立支援と活動拠点の整備
- 交通弱者の移動手段の確保

- ・地域交通の確保
- Society5.0の実現に向けた技術の活用

- ・A I、IoT、5 Gなどの未来技術の活用
- ・地域課題を解決するためのデジタル人材の育成・確保
- 市民の健康意識の醸成

- ・生活習慣病等の健診受診の推進、未病対策の推進
- 運動習慣の定着による健康増進プログラムの推進

- ・氷見きときと健康ポイントの普及促進
- 地域づくりによる介護予防対策

- ・100歳体操など住民主体の通いの場づくり

出生

進学

就職

結婚

出産・子育て

退職・老後

働きたい街

重要目標達成指標(R6)

- 納税義務者1人当たり所得
260万円 → 270万円
- 雇用保険適用事業所の被保険者数
8,833人 → 9,000人
- 新規求人数
4,922人 → 5,000人(フルタイムのみ2,577人 → 2,600人)
- 観光消費額
168億円 → 186億円

- 農林水産業・商工業の担い手の育成・確保

- ・若者の第一次産業への就業支援
- ・創業にチャレンジできる機会の提供
- ・スマート化による省力化・生産性向上の支援
- ・リカレント教育の推進
- ・特定地域づくり事業協同組合の活用

事業承継件数
累計1件 (R1) ⇒ 6件 (R6)

担い手確保

- 既存のブランドの販路拡大

- ・既存のブランドの維持・販路拡大のための生産規模の拡大支援
- ・学校給食等での氷見産食材の活用促進
- ・森林資源の活用(市産材の生産量拡大、販路開拓)

学校給食等での氷見産食材の使用割合
5% (H30) ⇒ 30% (R6)

- 地元雇用に関わりつづける優良企業や研究機関等の誘致

雇用創出

- ・企業誘致活動の強化
- ・サテライトオフィスの整備と活用の促進
- ・能越自動車道IC周辺の利活用の促進

市内へ進出した企業または研究機関等の件数
累計 0件 (R1) ⇒ 5件 (R6)

- 新たな食の氷見ブランドの確立

- ・新たな食のブランド(農業生産物、加工品)の開発支援
- ・地域の特色ある農業の6次産業化の促進
- ・産学官連携による新産業の創出

都市部で開催する氷見の食に関するイベントの参加者数
累計 0人 (R1) ⇒ 2,200人 (R6)

- 第一次産業の6次産業化推進

- ・他産業との連携による農林水産業の成長産業化

6次産業化の取り組みによる新商品開発数
累計 8品 (H30) ⇒ 12品 (R6)

- 創業(事業承継)の支援

- ・関係機関と連携した創業支援

創業件数(事業承継も含む)
累計 10件 (R1) ⇒ 70件 (R6)

- 既存企業の競争力強化

- ・既存企業の売上拡大、生産性向上のための設備投資に対する優遇または支援措置
- ・ビジネスサポートセンターの設置による企業へのサポート体制の充実

ビジネスサポートセンターの相談件数
年間 0件 (R1) ⇒ 1,000件 (R6)

- 地域資源を生かした滞在型観光の推進

- ・農泊・体験型観光の推進
- ・まんがを生かした観光客の誘致と滞在時間の延伸
- ・世界農業遺産への登録
- ・新交通システムの導入

観光入込客数
年間 217万人 (R1) ⇒ 240万人 (R6)

産業振興

- 働きがいを感じることができる魅力的なしごとの創出

- ・女性が働きやすい労働環境の整備の支援
- ・働き方改革の推進(企業への働きかけ)
- ・障がい者の活躍機会の増加
- ・外国人受け入れ企業への支援

従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備に取り組む企業の数
累計 77社 (R1) ⇒ 80社 (R6)

観光振興

- インバウンドの誘致

- ・インバウンド環境の整備
- ・海外へのプロモーションの実施
- ・キャッシュレス決済の促進

外国人宿泊客数
年間 7,017人 (H30) ⇒ 15,000人 (R6)

消費拡大

- 地域内消費の促進

- ・地域内商品券の販売促進
- ・エネルギーの地産地消の推進

地域内商品券販売額
年間 4,000万円 (H30) ⇒ 5,000万円 (R6)

- まちなかの賑わいの創出

- ・エリアマネジメントによるまちなかの賑わいの創出
- ・チャレンジショップスペース(複合店舗)の整備

中心市街地への出店件数
累計 3件 (R1) ⇒ 33件 (R6)

育てたい街

重要目標達成指標(R6)

- 婚姻数
141件 → 150件
- 出生数
189人 → 230人
- 子ども女性比
0.165 → 0.202

- 子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備

- ・放課後子ども総合プランの推進
- ・子どもが安心して遊び・学べる場の整備
- ・通学時の安全確保対策の推進

海浜植物園の入園者数
年間 45,000人 (H30) ⇒ 65,000人 (R6)

- 子どもの生きる力を育成する保育・教育の充実

- ・保育士確保対策の推進
- ・配慮が必要とされる児童と保護者を支援するキッズサポートセンター(仮称)の設置
- ・食育・木育の推進

待機児童数
0人 (H30) ⇒ 0人 (R6)

保育・学校教育の充実

- 子どもの生きる力を育成する学校教育の充実

- ・カウンセラー等による心のケア支援の充実
- ・ICT環境の整備とICT教育の推進
- ・地域との関わりを生かした教育機会の創出

学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合
小学生 81.7% (R1) ⇒ 90.0% (R6)
中学生 87.0% (R1) ⇒ 90.0% (R6)

- 人生設計を考える機会の増加

- ・将来のプランを早期に考える機会の提供(中学生・高校生対象)
- ・結婚についての意識啓発の取組の強化

将来の人生設計を持っている高校生の割合
- % (R1) ⇒ 75.0% (R6)

- 教育に関わる経済的負担の軽減

- ・奨学金貸与の実施
- ・経済的な不安を抱える家庭への支援

ぶり奨学プログラム登録者数
累計 166人 (H30) ⇒ 350人 (R4)

- 出会いの場の創出、地域の応援・支援による婚姻率の向上

- ・婚活イベント等による出会いの場の創出
- ・縁結びおせっかいさん事業の推進

おせっかいさんによる引き合わせ件数
年間 22件 (H30) ⇒ 40件 (R6)

結婚・出産・子育ての切れ目のない支援

- 安心して出産できる環境の整備

- ・産科医の確保

市内分娩施設数
1施設 (R1) ⇒ 1施設 (R6)

- 妊娠・出産に関わる経済的・精神的負担の軽減

- ・不妊相談の実施、不妊治療の助成拡大
- ・子ども・妊産婦医療費の助成

不妊治療に係る助成申請件数
年間 40件 (R1) ⇒ 55件 (R6)

- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進

- ・子育て世代包括支援センターをワンストップ窓口とする支援体制の充実
- ・市と関係機関との連携強化
- ・小児科医の確保

出産前後の相談件数
年間 1,350件 (R1) ⇒ 1,500件 (R6)

- 子育てに関わる経済的・精神的負担の軽減

- ・保育料の無償化、家庭で子育て応援金の給付
- ・給食費補助の上乗せ
- ・医療機関との連携による病児保育の実施
- ・地域子育て支援センターの充実

子育てや教育に不安を感じたとき身近に相談できる人がいる市民の割合
76.1% (R1) ⇒ 80% (R6)

- 子育てと両立するワーク・ライフ・バランスの推進

- ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の強化

仕事と子育ての両立ができていると思う市民の割合
69.4% (R1) ⇒ 75.0% (R6)

- 職場と子育て支援施設の連携

- ・延長保育、休日保育の実施
- ・父親の家事・育児参加の促進

市内保育所・認定こども園の延長保育実施率
80% (H30) ⇒ 100% (R6)

いきいきと住み、働き、子育てできる「ふるさと氷見」の実現